

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月12日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 学究社

コード番号 9769 URL <http://www.ena.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役兼代表執行役社長

(氏名) 河端真一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役副社長

(氏名) 池田清一

TEL 03-5339-1211

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日

平成21年12月8日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	3,351	△7.1	381	△7.1	385	△6.4	221	2.3
21年3月期第2四半期	3,607	—	410	—	411	—	216	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	35.85	—
21年3月期第2四半期	34.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	4,220	2,725	63.6	436.49
21年3月期	4,203	2,652	62.1	419.42

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 2,683百万円 21年3月期 2,612百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	20.00	20.00
22年3月期	—	10.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	20.00	30.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,000	0.1	780	12.2	800	17.2	460	4.6	74.55

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 6,749,780株 21年3月期 6,749,780株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 601,978株 21年3月期 521,678株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 6,170,631株 21年3月期第2四半期 6,351,479株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期におけるわが国経済は、国際的な金融安定化政策や新政権の政策実現に対する期待により、一部持ち直しの兆しが見られたものの、雇用情勢、消費活動の低迷により、経済動向は予断を許さない状況が続いております。

学習塾業界も、学齢人口の減少、不況による家計の教育費の削減等の影響により、業界内での熾烈な競争が引続き行われ、厳しい状況が続いております。

こうした状況の中、当グループは前連結会計年度に売却しました海外子会社2社の影響により、売上高は減少いたしました。また、夏期講習の売上高は順調に推移したものの、2学期以降の新規生徒の入学、売上単価低減の影響等により、前第2四半期連結累計期間に比べ、売上高は減少いたしました。経費に関しては、効率的な校舎運営を意図した校舎統合による支払家賃の削減、監査・内部統制に関する報酬諸手数料の削減等を行いました。校舎運営を充実させるための人件費の増大、清里自然学校及び「受験道場」に関する運営費用、減価償却費の増大等により、経常利益も減少いたしました。しかしながら、法人税等税金費用の減少により四半期純利益は増加いたしました。

当第2四半期も、教務力の強化や組織改編による営業施策の継続的な強化により、小中集団指導部門及び個別指導部門共に前連結会計年度に比べて生徒数が増加しました。これらの結果、売却した海外2社や新規施設の影響を除き、売上高、収益性共に前連結会計年度並みに推移しております。大学受験部門は、前年2月に5校舎を他塾に事業譲渡する等の経営努力を行っており、収益構造の改善を引続き計っております。

また、海外子会社（GAKKYUSHA U. S. A. CO., LTD. 及びGAKKYUSHA CANADA CO., LTD.）は、売上高は減少したものの、経営の効率化により前年同期に比べ増益となりました。受験・教育ポータルサイト運営を行う株式会社インターエデュ・ドットコムは、サイト内容の充実やバナー広告等の営業強化を行っており、第2四半期において人件費の見直しによる費用削減等により、前年同期に比べ増益となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,351百万円、営業利益は381百万円、経常利益は385百万円、四半期純利益は221百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、29百万円増加し、1,062百万円となりました。これは、主として現金及び預金、前払費用が増加し、未収入金、未収還付法人税等が減少したこと等によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて、12百万円減少し、3,157百万円となりました。これは、主としてのれん、差入保証金の減少等によるものです。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて、16百万円増加し、4,220百万円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、3百万円減少し、1,009百万円となりました。これは、主として未払法人税等、前受金の増加、未払金、未払消費税等、賞与引当金の減少等によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて、51百万円減少し、486百万円となりました。これは、主として長期借入金の減少によるものです。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて、55百万円減少し、1,495百万円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて、72百万円増加し、2,725百万円となりました。これは、主として第2四半期における収益の増加要因により、当第2四半期純利益を計上したこと等によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、平成21年11月11日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおりであります。配当につきましては、業績状況、配当性向等を踏まえ、平成21年6月23日公表の「配当予想の修正および第2四半期配当の実施に関するお知らせ」に記載のとおり第2四半期末10円、期末20円とさせて頂く予定です。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
 1. 税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。
ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。
なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。
 2. 定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	787,800	644,621
有価証券	25,613	23,629
商品	22,283	30,438
貯蔵品	1,946	2,241
前払費用	122,187	110,062
未収入金	46,014	81,003
未収還付法人税等	—	83,142
繰延税金資産	26,952	26,935
その他	33,077	33,097
貸倒引当金	△3,060	△2,064
流動資産合計	1,062,816	1,033,107
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,125,116	2,095,723
減価償却累計額	△944,509	△920,016
建物及び構築物(純額)	1,180,606	1,175,706
機械装置及び運搬具	54,303	53,716
減価償却累計額	△39,141	△35,885
機械装置及び運搬具(純額)	15,162	17,830
工具、器具及び備品	412,936	395,364
減価償却累計額	△292,023	△269,882
工具、器具及び備品(純額)	120,912	125,481
土地	619,585	619,585
建設仮勘定	9,030	9,030
有形固定資産合計	1,945,297	1,947,633
無形固定資産		
のれん	254,872	264,490
ソフトウェア	4,843	3,981
その他	243	258
無形固定資産合計	259,958	268,730
投資その他の資産		
投資有価証券	29,199	29,199
繰延税金資産	66,834	66,456
差入保証金	736,280	740,027
その他	186,178	188,475
貸倒引当金	△65,766	△69,830
投資その他の資産合計	952,726	954,328
固定資産合計	3,157,982	3,170,692
資産合計	4,220,798	4,203,800

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	113,600	113,600
未払金	90,421	168,935
未払費用	153,433	155,988
未払法人税等	151,258	85,929
未払消費税等	35,844	45,810
前受金	400,202	361,808
賞与引当金	35,964	53,100
その他	28,939	27,749
流動負債合計	1,009,664	1,012,922
固定負債		
長期借入金	187,600	244,400
退職給付引当金	297,504	292,678
長期預り保証金	1,000	1,000
固定負債合計	486,104	538,078
負債合計	1,495,768	1,551,000
純資産の部		
株主資本		
資本金	806,680	806,680
資本剰余金	1,243,664	1,243,664
利益剰余金	916,279	819,630
自己株式	△222,815	△189,508
株主資本合計	2,743,808	2,680,466
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	△60,354	△68,245
評価・換算差額等合計	△60,354	△68,245
少数株主持分	41,576	40,579
純資産合計	2,725,030	2,652,799
負債純資産合計	4,220,798	4,203,800

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	3,607,904	3,351,882
営業費用	2,643,008	2,390,839
営業総利益	964,895	961,042
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	156,246	140,365
給料手当及び福利費	163,248	172,803
賞与引当金繰入額	10,346	7,028
退職給付費用	2,175	2,751
支払報酬	73,667	64,406
賃借料	35,722	36,075
租税公課	20,407	19,897
貸倒引当金繰入額	1,050	—
その他	91,261	135,981
販売費及び一般管理費合計	554,126	579,310
営業利益	410,769	381,732
営業外収益		
受取利息	2,418	1,076
受取配当金	4	202
受取家賃	6,651	—
法人税等還付加算金	—	2,287
その他	7,625	4,641
営業外収益合計	16,699	8,208
営業外費用		
支払利息	3,667	2,877
為替差損	5,298	1,326
過年度源泉税	4,439	—
その他	2,414	232
営業外費用合計	15,820	4,436
経常利益	411,648	385,504
特別利益		
受取保険金	—	1,147
賞与引当金戻入額	—	7,884
貸倒引当金戻入額	—	3,013
特別利益合計	—	12,046
特別損失		
固定資産除却損	5,642	13,053
特別損失合計	5,642	13,053
税金等調整前四半期純利益	406,006	384,497
法人税等	188,536	160,070
少数株主利益	1,145	3,216
四半期純利益	216,323	221,210

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

該当事項はありません。